



～もう一人の自分たち～

校長 熊本 寿美

自ら学び、自己を鍛え、“宇美”を愛する生徒の育成

(文責：教頭 土器 修)

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に係る緊急事態宣言期間が延長された中ではありますが、生徒たちは、元気に学習に、係活動に、部活動に取り組んでいます。これも、保護者、地域の皆さまが本校感染症対策にご協力いただいているお陰だと、本校職員一同、心より感謝申し上げます。引き続き、生徒、関係の皆さまの安全・安心を確保するべく、感染症対策を講じながら、教育活動を行ってまいります。保護者、地域の皆さまにおかれましては、家庭、地域における子どもの見守りや毎朝の検温等にご協力くださいますようお願いいたします。



部活動に意欲的に取り組む生徒の様子

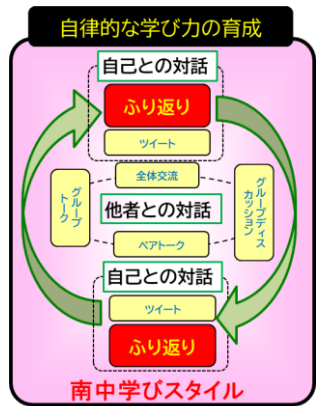
「南中学びスタイル」の習得に向けて ～対話活動・ふり返り・家庭学習～

本校では、自分で課題を見だし、自ら進んで課題解決する自律的な学び力の育成に取り組んでいます。この育成には、授業中の対話活動やふり返りを通して学んだことを、家庭学習で定着させるという「南中学びスタイル」(右図)を南中生自らが身に付けることが必要です。本号では、その「南中学びスタイル」で重要な役割をはたすふり返りについて、実際の授業の様子を取り上げて紹介いたします。

3学年理科の「等速直線運動」の授業では、水平方向に動く台車の速さがどのように変化するかを予想し、検証、考察するという学習が行われていました。予想する活動では、生徒はこれまでの学習や生活をふり返り、そこからの様々な知識を総動員して予想を述べ、課題解決への見通しを立てていました。続く活動では、速度の変化を紙テープに打刻する記録タイマーを使って実験を行い、結果をもとに学習したことをふり返り、距離、速さ、時間の関係を結論付けていました。

1学年美術の「デッサン」の授業では、目の前の紙コップに影を付ける学習活動が行われていました。教師からの「どの影が一番濃くなりましたか」という発問で、生徒は作品と立体を眺め、制作過程をふり返りました。生徒は「コップの裏側に近いところ」「飲み口の縁のところ」「意外に下の方は光があたって明るい」など発表し、光と立体の関係について理解することができただけでなく、「先入観で物事を見ない」「ありのままを見る」という学び方をつかむことができました。

2つの授業に共通する「ふり返り」を通して、生徒自身が、課題解決に向かう予想や見通しをもち、学び方を調整したり、修正したりしながら、どのような学び方や見方・考え方を身に付けたのか、次の課題解決にどのように活用するのかを見つめ直すことができます。



図：「南中学びスタイル」



班で結果を考察する様子



デッサンを仕上げる様子

教職員の研修の充実に向けて ～主題研究「自ら学び、協働して課題解決に向かう生徒の育成」～

本校では、様々なデータを活用して、教員1人1人が自らの授業づくりや集団づくりについて分析し、改善につなげていくマネジメント力の向上を目的に、教職員研修の充実に取り組んでいます。授業づくりに係るマネジメント力の向上については、主題研究やICT活用に係る研修等を教育研究部が提案し、実施しています。5月13日(木)の放課後に実施した主題研究では、「南中学びスタイル」の習得に向けて、どのように授業改善を進めるのかについて共通理解を図りました。また、国が示したGIGAスクール構想「個別最適化された学び」の実現に向けて、授業改善にICTを取り入れるために、様々なICTを活用する効果について共通理解を図りました。



職員研修の様子

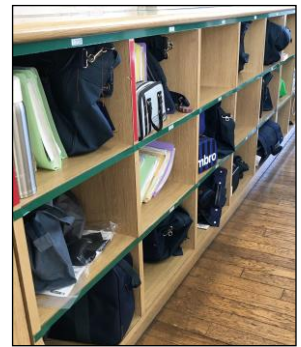


ICT活用に係るプレゼン資料

指導の基盤づくりに向けて ～「授業規律徹底ウィーク」～

本校では、「指導の基盤」として、「あいさつ」「黙働掃除」「時間の徹底」を重点的に指導しています。日々の授業に際して、教室環境を整えたり、あいさつや提出物、傾聴姿勢を整えたりすることは、生徒にとって、学習に向かう意識を高める「学びの基盤」となります。毎週、各学年のチーフもこの3つの視点で学年の状況をふり返り、課題について対策を協議しています。

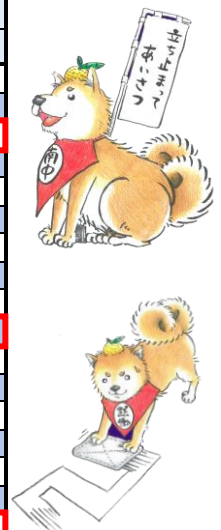
5月17日（月）から「第1回授業規律徹底ウィーク」の取組をはじめ、6月10日（木）、11日（金）に控えた1学期期末考査に向けて、改めて自らの授業に向かう姿勢等を整える機会にしています。前半と後半に分けてアンケートを実施し、前半結果を受けて、生徒自らが改善に努めた結果、大半の項目で数値が上昇しています。また、取組を通して、あいさつや規律だけでなく、教室後方のロッカーもきちんと整理されるようになった学級もあり、感心しています。全学年共通した課題である「笑顔であいさつ」、「授業中の正しい姿勢」、「自分の担当以外の掃除」については、引き続き実施される生徒会の様々な徹底週間等と連携して各学年で指導を行い、規律の徹底を図ります。



整理されたロッカーの様子

アンケート項目	1学年		2学年		3学年	
	前半	後半	前半	後半	前半	後半
『自分から先に』を意識した登校時のあいさつ	3.24	3.69	3.34	3.61	3.56	3.64
『相手の目を見て』を意識した登校時のあいさつ	3.14	3.44	3.42	3.52	3.32	3.34
『笑顔で』を意識した登校時のあいさつ	2.33	2.83	2.76	2.97	2.88	2.91
『立ち止まって』を意識した登校時のあいさつ	3.21	3.56	3.57	3.70	3.59	3.63
授業前の授業の用具の準備	3.63	3.73	3.85	3.88	3.80	3.90
授業前の机の周りのゴミ拾い、机並べ	2.76	3.01	2.82	3.09	2.94	3.03
授業開始時のチャイム席	3.76	3.78	3.84	3.94	3.83	3.90
「腰骨を立てましょう」の号令後の返事	2.98	3.40	2.80	3.25	3.02	3.24
黙想と「おねがいします」のあいさつ	2.99	3.44	2.89	3.23	3.14	3.27
授業中の正しい姿勢	2.51	2.86	2.78	2.83	2.77	2.93
授業中の傾聴	3.29	3.38	3.15	3.36	3.26	3.39
授業終了時のあいさつ	2.98	3.38	2.84	3.16	2.97	3.16
授業終了後の次の授業準備	3.10	3.31	3.59	3.69	3.74	3.69
チャイム前の掃除場所への移動と掃除の準備	3.64	3.62	3.84	3.86	3.80	3.78
無言での掃除	3.13	3.28	3.65	3.70	3.59	3.64
己拭きの雑巾がけ、隅々の掃き掃除	3.48	3.60	3.72	3.79	3.65	3.73
自分の担当以外の掃除	2.84	2.81	2.77	3.32	2.68	2.76

各学年のアンケート結果（4段階尺度法 4:できている 3:ほぼできている 2:あまりできていない 1:できていない）



安心の居場所づくり ～カウンセリング室のリニューアル～

5月から本校スクールカウンセラーの津島奈々先生によるカウンセリングがはじまりまっています。新たにカウンセリング室内の配置もかわり、生徒の皆さんが安心して相談できる環境がさらに整備されました。感染症対策として、飛沫防止パネルを設置したり、プライバシーを守るために仕切りを配置したりしています。カウンセリングのスタート以来、既に多くの生徒、保護者の方が利用されています。勉強や友人関係の悩み、健康や家族のこと等、相談したいときは、養護教諭の重田先生や担任の先生に声をかけましょう。津島先生のカウンセリングの予約状況を確認し、日時を調整してお知らせします。

本校では、生徒が安心して学校生活を過ごせるように、居場所づくり、教育相談の充実に取り組んでいます。コロナ禍のため、健康や人間関係に不安や悩みを抱えた子どもの心身のケアにも努めています。スクールカウンセラーによる教育相談のほかに、学校生活安心アンケートを実施したり、長期休業前には担任による2者面談期間を設けたりして、生徒の教育相談を行っています。



カウンセリング室の様子



プライバシー保護のついで

第24回図書館を使った調べる学習コンクール佳作受賞生徒の紹介

3学年上村奈央姫さんの2学年時の作品「家庭で作れる無害プラスチック」が公益財団法人図書館振財団主催のコンクールで佳作を受賞しましたので改めてご紹介します。全国からの選りすぐりの作品の中での受賞となります。材料の分量等の違いで結果がどのように変わるかを調べ、写真等を使ってまとめた作品で、科学に主体的に向かう姿勢が伝わる内容となっています。



理科室に掲示された受賞作品

<保護者の皆さまへお願い>

- 梅雨前線の影響で、大雨による登下校中の河川の増水等が心配されます。登校時間を遅らせる等、大雨に伴う学校の対応については、前日までに安全・安心メールにてお知らせいたします。
- 今後、夏季にかけて気温が高くなり、熱中症のリスクが高まります。ご家庭でお子さまにもたせる水分を多めにご準備くださいますようお願いいたします。